

7月1日の集団的自衛権の閣議決定や軍事費の増強、武器の輸出に沖縄県の基地強化と全国各地へのオスプレイ配備まで… 国民・青年の「戦争はイヤ」「憲法守って」の声を無視して強行する安倍政権。日本共産党は戦争反対を貫いて92年。憲法を守り生かす唯一の党としてがんばります！

日本共産党

若者を戦場に送るな！

集団的自衛権って？

アメリカの戦争に、自衛隊が戦地に派兵され武力行使をおこなう。集団的自衛権は日本を守るためにではなく、他国の戦争で日本の若者が血を流すということです。

「憲法9条のもとでは、海外での武力行使は許されない」としてきた歴代政府の憲法解釈を、一片の閣議決定で決める暴挙は絶対に許されません。



※平和新聞より



日本を 「殺し、殺される国」に していいのか

イラク戦争時、日本は自衛隊を派兵しましたが、海外での武力行使はできないという憲法9条による「歯止め」がありました。

この「歯止め」をはずせば、自衛隊が他国の人を殺し、隊員から戦死者が出ることは避けられません。



福岡で多数の若い人が
参加した「憲法デモ」

若者の未来をつぶす安倍政権をたおそう

日本共産党は
「平和協力構想」
を提唱

安倍政権は集団的自衛権行使の口実として、北朝鮮や中国の動向をあげています。北東アジアには緊張の火種を抱えていますが、大切なことは、軍事対決の悪循環ではなく道理に立った外交交渉、平和解決に徹することです。日本共産党は東南アジアで発展している平和の流れを北東アジアにもひろげる「北東アジア平和協力構想」を提唱しています。

ご意見・感想は電話 092-411-5131 メール info@fjcp.jp (日本共産党福岡県委員会)

福岡民報

日本共産党福岡県委員会の見解を紹介します。●2014年10月号外●発行：福岡民報社

●1964年12月9日第三種郵便物認可●〒810-0022 福岡市中央区薬院3-13-12 大場ビル3階